

Japanese Patent Office
(10) Utility Model Publication
(11) Utility Model No. Sho46-37721
(54) Polisher
(21) Utility Model Application No. Sho 44-111442
(22) Application: May 29, 1967 (based on earlier Patent Application)
Foreign priority:
(31) 558687
(32) June 20, 1966
(33) US
(72) Creator: Jack Kenneth Metz, a US citizen
(71) Applicant: American Velcro Incorporated, Brown avenue 406,
Manchester city, New Hampshire, US

Claims

A polisher comprising:

- (a) a driving plate 13 having a planar plate 14 rotated or reciprocally moved by a motor of a polisher body, and a cushion plate 15 attached to the planar plate 14;
- (b) a Velcro® hook tape 17 and 19 attached to the cushion plate 15; and
- (c) a wiping pad supported by entangling with a plurality of small hooks 18 standing upright on the hook tape 17 and 19.

⑥Int.Cl.
B 08 b
A 47 1

⑦日本分類
92(3)C 125.1
92(3)A 4
92(3)C 11

日本国特許庁

⑧実用新案出願公告

昭46-37721

⑨実用新案公報

⑩公告 昭和46年(1971) 12月27日

(全3頁)

⑪ボリツシャ

⑫実願 昭44-111442

⑬出願 昭42(1967)5月29日
(前特許出願日援用)

優先権主張 ⑭1966年6月20日⑮アメリカ
カ国⑯558687

⑰考案者 ジヤツク・ケネス・メーツ
アメリカ合衆国ニューヨーク州ス
カステール市クロス・ウエイズ 10
9

⑲出願人 アメリカン・ベルクロ・インコ
一ポレーテッド
アメリカ合衆国ニューハンプシャ
ー州マンチエスター市ブラウン・ 15
アヴェニュー406

代理人弁理士 佐生英吉

図面の簡単な説明

第1図はこの考案のボリツシャの一実施例とし
ての床磨き器(フロア・ボリツシャ)の側面図を
示す。第2図は第1図の2-2線に沿う断面図、
第3図は第1図の3-3線に沿う部分断面図であ
る。

考案の詳細な説明

この考案は取換えることのできる磨きパッド(バ
ッフとも言う)を用いたボリツシャに関するもの
である。

従来のボリツシャの磨きパッドはその中央部を
イボルトとナット、あるいはロボルトとボルト孔
形式で取付けていた為、次に述べるような欠点が
あつた。すなわちイ磨きパッドが摩りへつた時に
取付け用ボルトあるいはナットが磨くべき面を搔
き削るおそれがあつた。ロ磨きパッドをその中央
だけで保持しているので、磨き作業中パッドの折
れ曲り或は引裂きの事故を生じやすかつた。ハ
ーフドの交換のたびにスパンなどの工具を必要とし
た。

この考案はこれらの欠点を除くものであつて、

アメリカン・ベルクロ会社(American
Velcro Inc.)のベルクロ(登録商標)
フック・テープ・ファスナー(アメリカ特許N
o. 3009325)のフック・テープのように
5 テープ上に直立して密に植込まれた小さなフック
と磨きパッドのフィラメントとの絡み合いにより
磨きパッドをその広い面積にわたつて保持し、し
かも磨きパッドの交換が容易に行われるようにな
ったボリツシャである。

以下図面により、この考案の一実施例としての
床磨き器(フロア・ボリツシャ)について説明す
る。第1図に於て床磨き器本体10のハウジング
12の内部にモータ(図示せず)があり、この回
転により駆動板13が廻る。第1図の3-3断面
を示す第3図に於て駆動板13は平板14とこれ
に固着した発泡プラスチックあるいは発泡ゴムな
ど適当な材質のクッション板15よりなる。第1
図の2-2断面を示す第2図に於てクッション板
15の平坦面16にはベルクロ(登録商標)フッ
ク・テープ17が接着されている。

この考案の実施例に用いられるベルクロ(登録
商標)フック・テープ17はカタログ番号でフッ
ク#80が適当で、このフック・テープ17は6
.5cm²(1in²)当たり200個以上の小さなフ
ック18が直立して密集し、幅は25~50mm
(1~2in)のものが適当である。

第2図に示すフック・テープ17の配置は、ク
ッション板15(第3図)の平面16に内接正方
形の形に幅25~50mm(1~2in)のフック
テープ17が4本接着され、さらにこの正方形の
内部にも正方形の辺に平行に十字形にフック・テ
ープ19が接着されている。しかしテープ17,
19の配置は、後述の磨きパッド20を十分な力
でしかもできるだけ磨きパッド20の全面にわた
つて均等に保持するように定めればよく、第2図
の配置に限定するものではない。磨きパッド20
は天然あるいは人造繊維、スチール・ウールなど
のフィラメントを所定の厚さに結合したものであ
るが、第3図に示すようにパッド20をフック・

3

テープ17, 19に押しつければ、テープの無数のフック18とバツド20のフィラメントとが互いに絡み合い、バツド20が取付けられる。

バツド20による磨き作業中、フック・テープ17, 19とバツド20との間には両者の間に平行な力が作用するから、フック18とバツド20のフィラメントとの絡み合いは手で押しつけた時よりも強固になる。しかもバツド20はそのほぼ全面で保持されているので、従来のボルトとナットあるいはボルトとボルト孔形式によるバツドの中心だけの取付け構造と異なり、床磨き作業中バツド20の折れ曲り、あるいは引裂きの事故を防ぐことができる。またこのポリツシャによれば従来の取付け構造でバツド20が摩り減つた時に取付けボルトやナットで磨き面を搔き傷だらけにする事故もなくなる。バツド20の交換の為には、バツド20を手で一方から順次引き剥がして行けば、フック18から無理なく外すことができるから、交換は工具がなくとも容易に行うことができる利点もある。

以上は第1図の床磨き器（フロア・ポリツシャ

4

）について説明したが、他のポリツシャ（図示せず）についても磨きバツド20の保持構造については第1図の実施例と同様である。なお第1図の磨き器本体10中のモータ（図示せず）により駆動板13と磨きバツド20は回転運動しても往復運動してもよい。

実用新案登録請求の範囲

次の各部分より構成されるポリツシャ。

(a) ポリツシャ本体のモータにより回転あるいは往復運動する平板14とこれに固着するクッション板15より成る駆動板13。

(b) クッション板15に接着したベルクロ（登録商標）フック・テープ17, 19。

(c) フック・テープ17, 19の無数の直立する小さなフック18に絡み合つて保持される磨きバツド20。

引用文献

20 実 公 昭39-4991

(3)

実公 昭46-37721

